

「本リリース御案内は、経済産業省記者クラブ、ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

## 報道各位へのお知らせ

平成22年3月29日



製品安全センター

### 「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック2010>」の発行について

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井至、本部：東京都渋谷区）製品安全センターは、これまで発生した製品事故事例を取り上げ、「事故原因」、「製品を使用する上での注意事項」等をわかりやすく説明し、製品と安全につきあうための心構えをまとめた消費者啓発用冊子「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック>」を発行し、消費者への注意喚起を行ってきました。また、消費者への注意喚起以外にも「製品に起因する事故」については、事業者への働きかけ等によって、事業者が市場から製品を回収するなど、事故防止に努めてきましたが、依然として重篤な製品事故が発生しています。

平成18年度から平成20年度までにNITEに通知され、NITEデータベースで公表した製品事故情報は、12,332件（平成22年2月3日現在）であり、「製品に起因しない事故」と分類された事故が3,553件（約30%）あります。

「製品に起因しない事故」3,553件のうち、使用者の誤った使用方法や不注意が原因で起こったと考えられる事故は2,926件で、「製品に起因しない事故」の8割を占めています。また、21年4月から22年1月までの事故通知（重複を除く）は、3,341件あり、このうち、「死亡事故」が45件発生し、53人が死亡しています。「死亡事故」について、製品別で多いのは「石油ストーブ」9件（11人）、「電動車いす」9件（9人）、で「ガスこんろ」4件（7人）、「石油ファンヒーター」4件（4人）と続きます。

これらの中には、使用者が製品を正しく取り扱えば未然に防ぐことができたと思われる事故が多数含まれています。NITE製品安全センターでは、これらの事故を踏まえ、誤った使用方法や不注意による製品事故事例を新たなものに入れ替え「製品事故から身を守るために<身・守りハンドブック2010>（本文44ページ）」を発行しました。

今後は本冊子を消費者を中心にさらに普及啓発し、製品事故の未然防止に努めていきます。

つきましては、本書を社会に広く普及するために、記者説明会を開催することに致しました。

#### 1. 記者説明会について

日時：平成22年3月31日（水） 10:00～10:35

場所：NITEスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加ご希望の方は、平成22年3月30日（火）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へご連絡下さい。

## 2. 説明する内容

記者説明会当日は本書を配布するとともに、本書の内容について理解を得るために、生活場面（キッチン・ダイニング、浴室・洗面所・トイレ、リビング・寝室、屋外・レジャーなど）ごとに、「事故原因」、「製品を使用する上での注意事項」等をわかりやすく説明します。また、実際に発生した製品事故の再現実験映像や、事故品などを展示します。

（本件に関する問い合わせ先）

○記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全企画課

担当者 小田、宮川

電話：03-3481-6566

○記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、鬼頭、三好

電話：03-3481-6566（製品安全企画課）

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、鬼頭、三好

電話：06-6942-1113